

渡邊 哲也

わたなべ てつや

渡邊 哲也 Watanabe Tetsuya

健康科学部 リハビリテーションが学科 作業療法学専攻 講師

学歴・学位

長崎大学医療技術短期大学部 作業療法学科 卒業
広島大学大学院保健学研究科 博士課程前期 修了 保健学修士

主要職歴

平成 9 年 4 月～平成 10 年 4 月	社会福祉法人 鶴生会 長与リハビリセンター 作業療法士
平成 10 年 5 月～平成 12 年 3 月	医療法人 ましき会 益城病院 療養病棟担当作業療法士
平成 12 年 4 月～平成 12 年 9 月	医療法人社団 玉藻会 馬場病院 作業療法士
平成 12 年 4 月～平成 16 年 10 月	介護老人保健施設ハートフルあいあい荘 作業療法士
平成 16 年 4 月～平成 25 年 3 月	広島医療保健専門学校 作業療法学科 専任教員
平成 25 年 4 月～現在に至る	広島都市学園大学 健康科学部 リハビリテーション学科 講師

非常勤・兼務

平成 16 年 12 月～平成 18 年 3 月	成寿園デイサービスセンター 訓練指導員
平成 18 年 9 月～平成 23 年 9 月	早川クリニック 精神科訪問看護担当 作業療法士
平成 25 年 8 月～現在に至る	医療法人社団いでした内科・神経内科クリニック 作業療法士

専門分野

地域作業療法学(特に精神機能、認知症)

主な担当科目

基礎作業学実習、義肢装具学演習、職業関連活動、回想療法

研究テーマ

精神障害者、及び認知症者に対する作業活動の効果・影響性について
・精神機能面では、作業介入・作業活動が及ぼす効果について、特に対人距離に視点をあて研究しています。
・MCI～NCD 者に対して、予防的観点から重度者の生活支援と幅広い視点で研究に取り組んでいます。

ひとこと

精神障害者や認知症者を地域全体で支援するという取り組む動きが全国的に広がっています。病院や施設の中に限らず、地域で活躍できるようなセラピストの育成、また地域の中で活用できる活動の開発に取り組んでいます。今はボランティアや小さい講習会と活動の幅は小さいですが、これから大きくして地域貢献できるような取り組みにしたいと思います。

その他（所属学会・団体）

日本作業療法士協会、広島県作業療法士会、日本回想療法学会

資格・認定・研修

作業療法士、介護支援専門員(訪問調査員研修修了)、心療回想士

厚生労働省指定「健診・保健指導の実践者育成研修（基礎編、計画・評価編、技術編）」終了

普通救命講習修了

研究活動

学術論文

- 1) 「対人距離のとり方が難しい統合失調症の視知覚認知・機能について」(単) 広島大学大学院修士論文
2013年2月

その他（学会発表等）

- 1) 「精神科療養病棟における作業療法」 九州精神保健学会 1998年10月
 - 2) 「痴呆棟における目的別グループケアと生活改善について」 全国老人保健施設大会 2002年10月
 - 3) 「ムービーセラピーとその効果について」 四国老人保健施設大会 2003年7月
 - 4) 「認知症加算棟におけるグループ活動について」 香川県老人保健施設大会 2003年10月
 - 5) 「重度認知症者に対する感覚刺激を取り入れた集団療法」 広島県病院学会 2015年2月
 - 6) 「短時間ハンドマッサージの生理的・心理的効果」 NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 第23回全国の集い in はちのへ 2017 2017年10月
-